

# はじまるだより

2024年1月31日  
( 1 月 号 )  
第 113 号

中国地方整備局  
土師ダム管理所

## 令和6年年頭の「あいさつ」

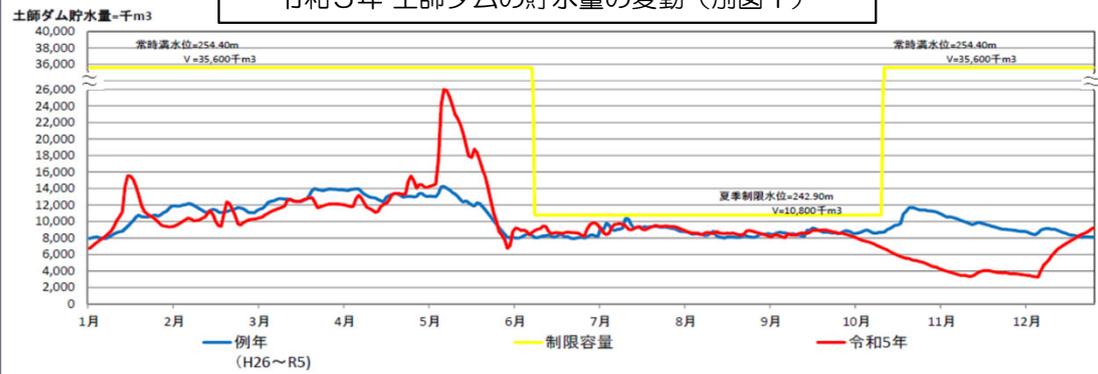


新年明けましておめでとうございませう。  
まず、元日に発生しました能登半島地震により犠牲になられた方に謹んでお悔やみを申し上げますとともに、被災された方に心よりお見舞いを申し上げますと思ひます。

日頃より国土交通行政、特にダム管理についてご理解ご協力をいただき誠にありがとうございます。

昨年を振り返りますと、5月6日から8日にかけて約120mmの雨が降り、この時期としては異例の毎秒約180トンの流入があったことから、のごえ公園が8日間浸水しました。一方、出水期（6月11日より10月15日）が終わる頃から雨が降らなくなり、10月、11月のダム流域の降水量は、平年の4割を下回ったことから貯水率は12月11日に9.5%まで低下しました。その後の降雨降雪により回復したことから湧水調整には至らず、ダムの目的の一つである上水道・工業用水・かんがい用水等の安定供給に寄与できましたが、年間変動が大きい一年でした。（別図1）

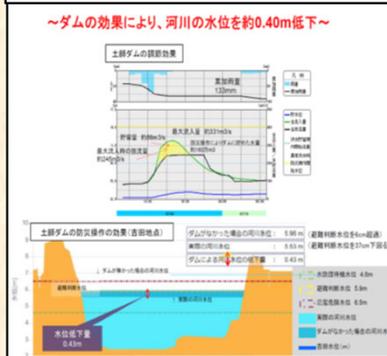
令和5年 土師ダムの貯水量の変動（別図1）



出水期においては、規模は大きくありませんでしたが2回の洪水調節を行いました。7月7日から9日の梅雨前線においてはダムへの最大流入量が毎秒331トンに対し、最大放流量を毎秒245トンとする調節を行い、下流の吉田水位観測所で避難判断水位の超過を抑えるなどの効果を発揮しました。（別図2）

地球温暖化の進展により、大雨や無降雨日の発生頻度が益々増加するといわれ、今後は、治水・利水両面における更なる適切なダム管理が求められているところであり、これらを行うことで地域社会の安全・安心に寄与できるよう取り組んでまいります。

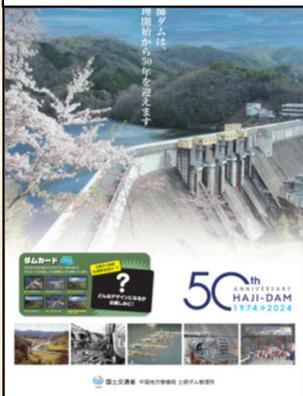
令和5年7月7日～9日  
(梅雨前線) 土師ダムの防  
災操作による治水効果



(別図2)

また、令和6年は、土師ダム管理開始から50周年を迎える記念の年となります。（別図3）50周年行事の一環で記念ダムカードを作ったり、イベントを実施したりと様々な取り組みを行いますのでよろしくお願ひします。

土師ダム  
50周年チラシ案



(別図3)

今後ともみなさまのご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。年頭のあいさつとさせていただきます。

土師ダム管理所長 岩田 学

土師ダムのリアルタイムの貯水位や流入量・放流量など詳しい情報はこちら

[https://www.cgr.mlit.go.jp/haji/rain\\_data/index.php](https://www.cgr.mlit.go.jp/haji/rain_data/index.php)

## 土師ダム低水管理について

土師ダムは10月16日～6月10日までを非洪水期と定めていて、維持流量(※1)以外はダムからの放流は行わないこととなっています(※2)。放流しなければダムの水位がどんどん高くなってしまふと思つかもせませんが、土師ダムは分水トンネル(※3)により太田川水系へ水を送っているため水位を適度に保つことが出来ています。

### 可部発電所が分水停止

令和6年1月10日～6月8日(予定)の期間、可部発電所の点検・修繕工事のため分水停止となります。4月30日までの維持流量は毎秒2トンに対してダムへの流入量は毎秒10～15トンであるため、2月末にはダムがいっぱいになってしまふ予測です。

ですが、土師ダムはゲートの点検を3カ月に1度実施するように定められていることや、3月末には桜まつりやGWが控えているためのごえ公園が浸水しないよう安芸高田市からの要望(※4)があることにより、水位を管理する必要があります。

そのためゲート点検を実施する1月29日～31日(実施済)及び5月上旬(予定)はゲート下まで、2月1日～5月のゲート点検までの間はのごえ公園が浸水しないよう、ダムからの放流を行い低水管理を実施します。



R5.5 大雨によるのごえ公園浸水

- ※1 漁業、農業、水道の利用、環境の保全、動植物の生育などのために必要な流量
- ※2 非洪水期でも常時満水位以上に水を貯めることはできないため、放流する場合があります
- ※3 土師ダムから可部発電所に送水できるトンネルで、分水された水は発電のほか広島市などの都市用水・工業用水などに利用される
- ※4 安芸高田市の要望については、土師ダム操作規則により利水者の意見を伺い中国地方整備局長の承認を得て放流します

## 土師ダムフラッシュ放流について

令和6年1月16日に三次河川国道事務所にて、関係者による「土師ダム・灰塚ダム環境放流検討部会」が開催され、フラッシュ放流を実施すべきという決定がされました。

その結果、フラッシュ放流を含めた河川環境全体を議論する場である「江の川上流河川環境改善協議会」において審議を行い、実施の是非について判断がされることとなりました。

### フラッシュ放流とは

ダムからの放流量を一時的に増やして、河川の水の流れの速さを上げることで川底にある石の表面を洗い流し魚の餌となる付着した藻を更新するとともに川の流れが悪くなる場所に溜まる汚れをきれいにする等のダム下流の河川環境改善を目的として水を大量に放流することです。



(令和4年度)土師ダムフラッシュ放流の様子



土師ダム・灰塚ダム環境放流検討部会(1月16日)

## 八千代湖の水質(12月)

### 土師ダム湖心の水質(mg/L)

|      | COD(全層) |   | 総窒素(表層) |   | 総リン(表層) |   |
|------|---------|---|---------|---|---------|---|
| 環境基準 | 3.0     |   | 0.43    |   | 0.018   |   |
| 11月  | 2.4     | ○ | 0.59    | × | 0.018   | ○ |
| 12月  | 2.0     | ○ | 0.35    | ○ | 0.017   | ○ |

## ダム周辺の観光客数(1月)

令和6年1月 2,940人



はじ丸

## 国土交通省中国地方整備局 土師ダム管理所

広島県安芸高田市八千代町土師369-24

TEL : 0826-52-2455

E-MAIL : [haji@cgr.mlit.go.jp](mailto:haji@cgr.mlit.go.jp)

URL : <http://www.cgr.mlit.go.jp/haji>

Twitter : @mlit\_hajimaru

「はじまるだより」はメール配信します。希望される方は、上記の土師ダム管理所のメールアドレスに連絡をお願いします。